

● 世界の主な地震

令和 4 年（2022 年）7 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

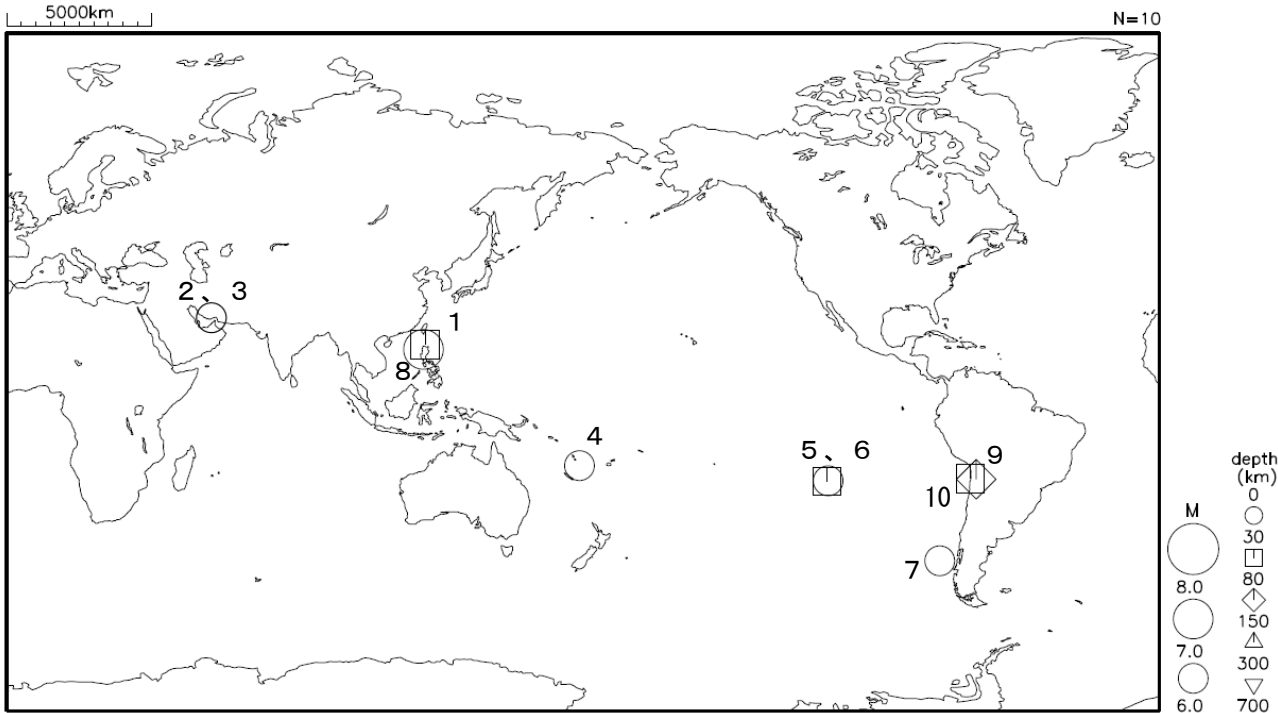


図 1 令和 4 年（2022 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 令和 4 年（2022 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	07月01日03時40分	N19° 01.4′	E121° 20.1′	30			6.0	フィリピン諸島			
2	07月02日06時32分	N26° 54.3′	E 55° 14.3′	16			6.0	イラン南部			
3	07月02日08時25分	N26° 53.2′	E 55° 19.2′	10			6.0	イラン南部	死者5人など		
4	07月12日06時10分	S18° 08.0′	E168° 58.2′	10			6.0	バヌアツ諸島			
5	07月13日04時16分	S22° 38.7′	W114° 13.3′	10			6.8	イースター島			
6	07月13日04時17分	S22° 46.6′	W114° 37.7′	33			6.6	イースター島			
7	07月16日04時37分	S44° 35.9′	W 79° 45.7′	10			6.4	チリ南部沖			
8	07月27日09時43分	N17° 33.6′	E120° 48.0′	10			(7.0)	フィリピン諸島、ルソン	死者11人など	○	○
9	07月28日03時58分	S22° 11.7′	W 68° 29.9′	97			6.2	チリ北部			
10	07月28日13時15分	S21° 56.0′	W 70° 20.4′	54			6.1	チリ北部沿岸			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2022 年 8 月 5 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による (27 日のフィリピン諸島、ルソンの地震については速報値)。Mw の欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMT による。
- ・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2022 年 8 月 5 日現在)、国内は総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9 時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。
- ・津波の観測値は、米国海洋大気庁 (NOAA: National Oceanic and Atmospheric Administration) による。

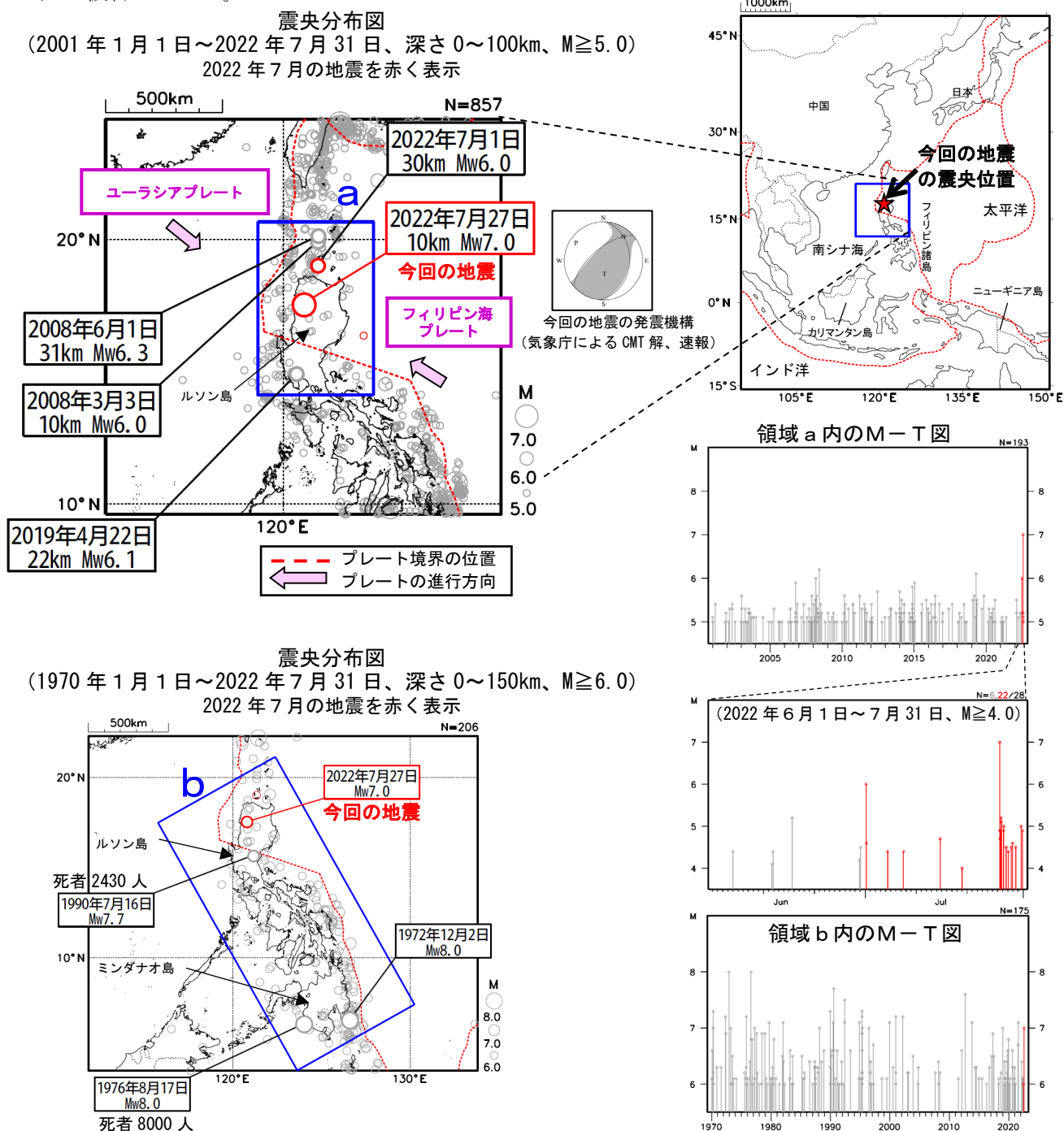
7月27日 フィリピン諸島、ルソンの地震

2022年7月27日09時43分（日本時間、以下同じ）にフィリピン諸島、ルソンの深さ10kmでMw7.0の地震が発生した。この地震は、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解、速報）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁は、この地震に対して、同日10時00分及び10時33分に北西太平洋津波情報を発表した。また、同日10時35分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。また、この地震により、死者10人等の被害を生じた。

2001年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.5以上の地震が時々発生している。

1970年以降の活動をみると、フィリピン諸島周辺（領域b）では、M7を超える地震が時々発生している。1976年8月17日に発生したM8.0の地震では、この地震による津波が発生したほか、死者8000人の被害が生じた。



※本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁、また図中のその他の吹き出しの地震のMwはGlobalCMTによる（1972年12月2日の地震を除く）。その他の震源要素は、米国地質調査所（USGS）による（2022年8月4日現在）。また今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所）による（2022年8月2日現在）。その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochimistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.